

令和7年度（2025年度）

自己点検評価報告書

学校法人大東文化学園
大東文化大学附属青桐幼稚園

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価報告書

学校法人大東文化学園
大東文化大学附属青桐幼稚園

1.評価実施日

自己評価	実施日	令和8年3月19日
保護者アンケート	実施日	令和8年3月10日～令和8年3月16日
学校関係者評価	実施日	令和8年3月27日

2.本園の教育目標

- ・知育・徳育・体育の調和のとれた子ども
- ・人の痛みがわかる思いやりのある優しい子ども
- ・美しいものに感動したり感性の豊かな子ども
- ・自分の考えや気持ちを表現でき、自分で考えて行動出来る子ども
- ・友だちと協力、助け合いながら意欲的に行動できる子ども

3.本年度重点的に取り組む目標・計画

開設2年目となる、満3歳児クラス・2歳児クラスの更なる充実と安心・安全な環境のもと質の高い保育の実践を目指す。

とうきょうすくわくプログラムの取り組みを通じて、こどもたちの好奇心、探究心を応援し、豊かな心の育ちをサポートする。

4.評価項目

- 1.幼稚園運営
- 2.保育の質の向上
- 3.環境整備・安全対策
- 4.子育て支援

5. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：十分に成果があった B：成果があった C：一部成果があった D：成果がなかった

評価項目	評価	取り組み状況
		項目
1. 幼稚園運営	A	2歳児クラスは安心安全を第一に保育を実施。一人一人の育ちに寄り添い、保護者と連携をとりながら様々な通園スタイルに対応した。満3歳児クラスにむけて、給食指導（慣らし保育）を実施した。
		2歳児・満3歳児クラスの充実
2. 保育の質の向上	A	・とうきょうすくわくプログラムによる探究活動の実施 ・こどもの個性に寄り添ったきめ細やかな保育 ・安全対策の強化 防災/防犯研修の実施
		すくわくプログラム ウェルビーイング保育 安全対策強化 園内研修の実施 教員の指導力向上
3. 環境整備・安全対策	A	・通園バスの置き去り防止対策の徹底（継続） ・園庭遊具の塗装改修（遮熱塗料使用）・砂場の保全 ・各種避難訓練の実施 ・災害用備蓄品の整備（アレルギー対応食を含む） ・不審者想定防犯対策訓練の実施
		園庭遊具等の安全対策（高温対策・衛生管理） 地震・火災・不審者・通園バス・水害想定での避難訓練
4. 子育て支援	A	・未就園児教室の実施 ・園庭、保育室開放（未就園児対象） ・満3歳児クラスの預かり保育実施を開始
		園庭・保育室開放（にこにこ広場）の開始

6. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
2歳児クラスの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・「多様な他者との関わり機会の創出事業」に基づく2歳児クラスの拡充 選べる通園コースの新設 ・「こども誰でも通園制度」導入に向けた安全に配慮した施設の改修 低年齢児に配慮した安全安心な玩具や保育室の環境を整える ※設置認可承認

7.学校関係者評価委員会の評価

・少子化が深刻化している中で幼稚園運営も大変だと思うが、園舎が綺麗に管理されており、園庭整備、園舎の修理、改修工事も定期的に行われていて園児が安全に過ごせる環境が整っていることは大学附属園として素晴らしい保育環境だと思う。

・漢字教育については、幼児期における文字への興味・関心を高める教育として園児さん達に定着しており、楽しみながら言葉に親しむ姿が見られ、単なる知識習得に偏ることなく、絵本なども取り入れながら指導されていて、集中力や理解力の育成に繋がって点は高く評価できる。

・書道は、大東文化ならではの取り組みとして大変素晴らしい取り組みだと思う。日本の文化に触れることもでき、姿勢を整え、落ち着いて取り組む時間は集中力も身につくとも貴重な経験になっていると思う。

・体操、英語指導も年齢に合ったカリキュラムで実践されており、楽しく学べることは園児さんにとっても幼稚園の楽しみとなっているのではないと思う。

・すくわくプログラムでは、園の特色を生かした探究活動が効果的に実施されていた。花の栽培活動、花壇整備、砂場の環境改善が適切に行われており、子どもが主体的に関われる環境づくりが進んでいる。これらの取組は、教育・保育の質向上につながっていると高く評価できる。

・今後も園児一人ひとりの発達に寄り添いながら、家庭や地域と連携を深めながら地域に根差した幼稚園として頑張ってくださいと思う。

学校関係者評価委員会実施日 令和8年3月27日